

人権学習展開例

- 主題名 性の多様性を考える
- 教材名 多様な性って何だろう？
- 人権学習の視点 個別的な視点「様々な人権問題(性的指向・性自認)」
- 主題・教材について

性の問題はアイデンティティーにかかわる問題であり、進学・就職・結婚・老後などの人生にも大きく影響する。しかし、社会の中で性的マイノリティの存在が見えにくく、正しい知識や情報を得る機会が少ない一方、当事者は支援を受けにくいことから、将来の不安・人間関係の障壁・自尊感情の低下などにつながる場合が多いことが懸念されている。

この教材では、私たちの性は多様であることを理解し、安心して過ごせる学校や社会を作っていくとする姿勢を養いたい。

●ねらい

多様な性についての理解を深め、性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくそうとする態度や、一人一人が自他の個性を尊重し、互いによさを認め発揮し合える関係を築こうとする態度を育てる。

●関連する教材

- 人権学習資料集＜中学校編Ⅱ＞ 「11 さまざまな性について考えよう」
 人権学習資料集＜小学校編Ⅳ＞ 「14 いろいろな性ってなんだろう？」

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	「性的マイノリティ」とは何だろう				
	○本時の課題を知らせる。	個別	○性的マイノリティに関してどの程度知っているかワークシートにチェックする。	○学級内に該当する生徒がいることも考慮し、授業を展開する。 ○日頃から生徒の状況を把握しておくことや、SHRで定期的にLGBTのニュースに触れる等土壌を作っておく。	ワークシート
展開	多様な性について理解を深めよう				
	○さまざまなセクシュアリティ(性のあり方)について説明する。	一斉	○配付資料①を見る。	○LGBTなどの性的マイノリティだけではなく、異性愛などのマジョリティも含めて説明する。	配付資料①

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展開	<p>○多様な性があることを前提としていないことにはどのようなことがあるか考えさせる。</p> <p>○誰もが安心して生活できる環境や社会をつくるためにできることを考える。</p>	個別	○ワークシートの(1)について考える。		ワークシート
		個別	<p>○配付資料②を読んで当事者やその家族、友人の思いを知る。</p> <p>○ワークシートの(2)について、実際の場面を想定して、自分ならどんな対応をするかを主体的に考える。</p> <p>○ワークシートの(3)について考える。</p>	<p>○当事者がカミングアウトをする際にどのような葛藤があるかを考えさせる。</p> <p>○これらの学習は決してカミングアウトを強制するものではないことに十分留意する。</p> <p>○不適切な発言についてはその場でなにが、どこが不適切なのかを考えさせ、訂正する。</p> <p>○差別的な言動をしないだけでは、性的マイノリティがいけないものとされがちで、孤立している構造を変えることはできないことに気づかせる。</p>	配付資料②
まとめ	○本時のまとめを行う。	個別	○本時の学習を振り返る。	<p>○生徒一人一人が、個々の「ちがい」をどう受け入れるか、考えるよう促す。</p> <p>○誰もが安心して生活できる社会を築くために、性的マイノリティのような見た目だけではわかりづらい「ちがい」は身近にあたりまえに存在するということを認めることが大切であり、日頃から多様な性について受け入れる姿勢を持つことが重要であることを強調する。</p>	

●評価

多様な性についての理解を深め、性的指向や性自認を理由とする偏見や差別をなくそうとする態度を身につけることができたか。